

NIE 教育に新聞を

実践指定校に 小中高計24校

本年度、県推進協

教育に新聞を活用する「NIE」活動を進めるため、県内の教育関係者や新聞・通信各社でつくる県NIE推進協議会の二〇二二年度総会が十六日、中日新聞社であり、県内から日本新聞協会に推薦する本年度NIE実践指定校に小中学校、高校計二十四校（継続、新規各十二校）を決めた。指定校には協議会の加盟各社が発行する新聞を一定期間、無料で提供。新聞を使った授業に必要な費用に

充てる補助金も支給する。総会では、八月に宮崎市で開催予定のNIE全国大会に教員を派遣する本年度事業計画なども決定した。

会長の土屋武志・愛知教



県NIE推進協議会の総会であいさつする土屋・愛知教育大教授。名古屋市中区の中日新聞社で

育大教授はあいさつで「ロシアのウクライナ侵攻（の報道）で、ジャーナリストがしっかり事実を伝える仕組みが重要だと分かった。教育で新聞を使って考えさせる活動はますます重要になってきた」と話した。

NIE実践指定校に推薦された学校は次の通り。

【継続校】名古屋市長治小、同市相原小、同市香流小、一宮市丹陽西小、愛西市佐屋小、半田市横川小、岡崎市三島小、豊橋市五並中、佐屋高、蒲郡高、名城大付属高、南山高女子部
【新規校】名古屋市長治小、同市吹上小、同市大和小、東海市大田小、一宮市葉栗中、安城市桜林小、豊川市豊川小、高浜市港小、木曾川高、豊橋西高、中京大京高、大同大京高